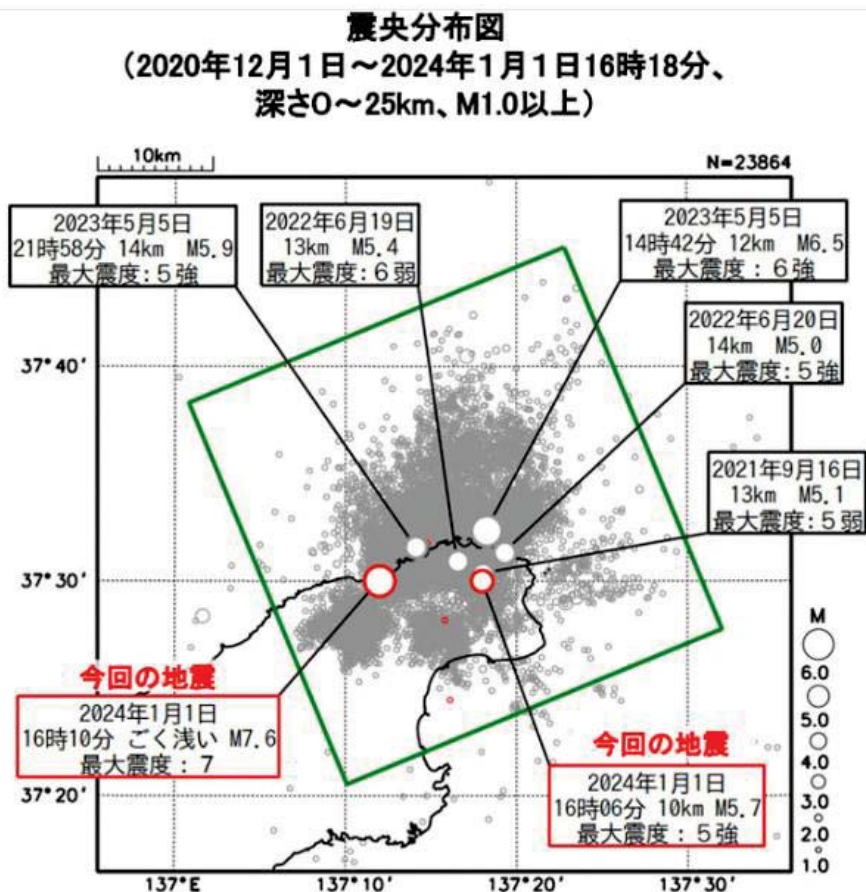


「発災時の自主防災会の役割」

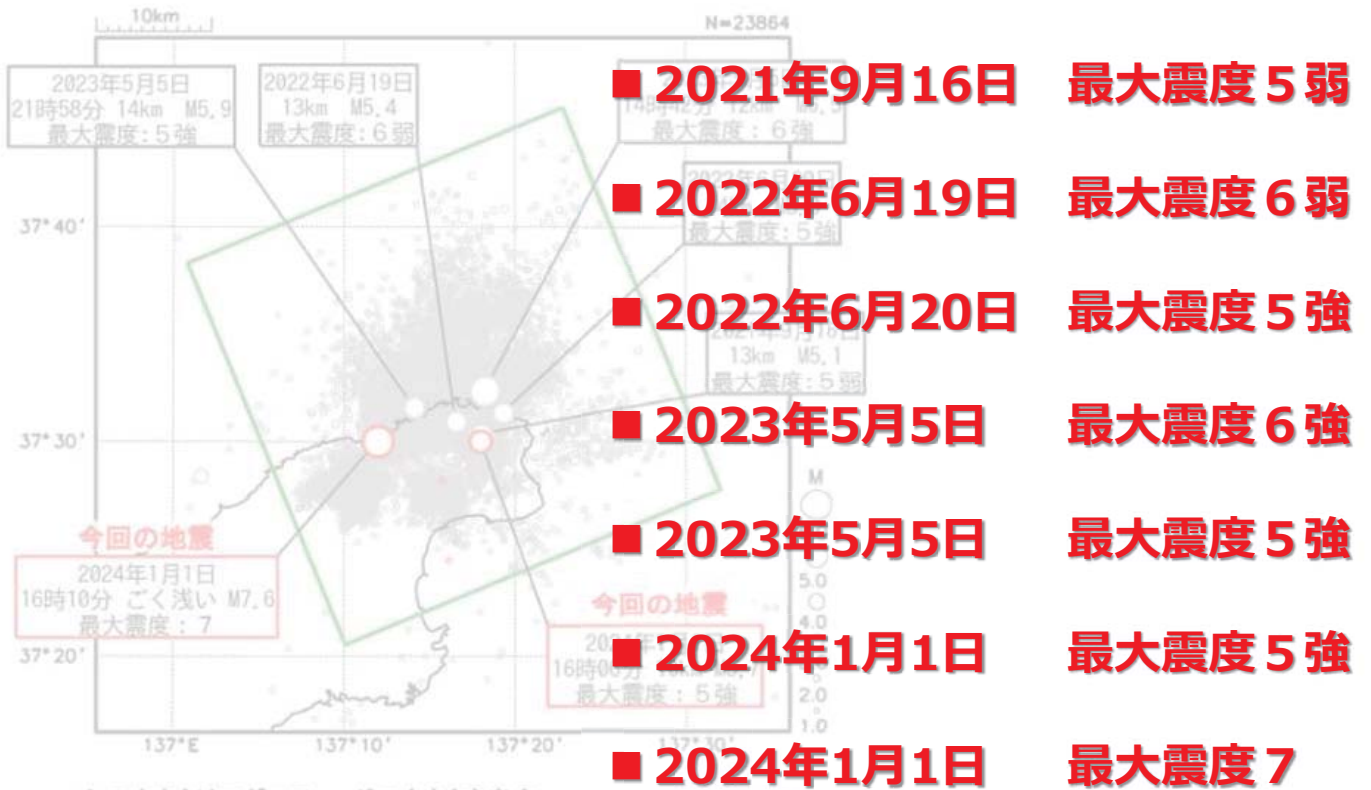
公益社団法人 中越防災安全推進機構
地域防災力センター長 野村 祐太



丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。
表示している震源は、速報値を含む。

提供：2021年以降に能登半島で発生した主な地震の震源（気象庁提供）

震央分布図
 (2020年12月1日～2024年1月1日16時18分、
 深さ0～25km、M1.0以上)



丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。
 表示している震源は、速報値を含む。

2021年以降に能登半島で発生した主な地震の震源 (気象庁提供)

自主防災会とは・・・

自主防災会とは、自治会などで地域住民が協力して、「自分達のまちは自分達で守る」ことを目的に、日頃からさまざまな活動を行う組織のことです。

地震や風水害など大規模災害が発生した直後は、消防や警察などの公的機関の救援が不足しますので、地域・社会が結束して災害に対処することが大切です。

Google から引用

長岡市 自主防災会結成率



89.65% (R6.3.31現在)

参考 (新潟県全体) : 87.4% (R5.4.1)

自主防災会の活動って・・・ (例)

- 防災に対する心構えの啓発（防災研修会への参加）
- 災害発生の未然防止のための活動（地域内の危険個所の確認）
- 災害発生に備えて地域を知るための活動（避難場所確認）
- 災害発生時の活動を習得するための活動（避難訓練など）
- 災害発生時の活動に備えるための活動（機材や備蓄品の管理）

Google から引用

長岡市 防災訓練の実施率

令和元年度：75.69%
令和3年度：58.87%
令和5年度：71.89%

しかし・・・（悩み・不安）

組織化したけど積極的な活動になっていない

役割や取り組まなければいけないことはあるが

そもそも何をしたらいいのかわからない

一緒にやってくれる人がいない

人がいないから続けられない

形骸（けいがい）化していく・・・

形骸化

- ・ 本来の機能や意義を失い、形だけが残ること
- ・ 時間の経過とともに本質を失い、名ばかりの存在となる

自主防災会とは・・・

自主防災会とは、自治会などで地域住民が協力して、「自分達のまちは自分達で守る」ことを目的に、日頃からさまざまな活動を行う組織のことです。

地震や風水害など大規模災害が発生した直後は、消防や警察などの公的機関の救援が不足しますので、地域・社会が結束して災害に対処することが大切です。

「発災時の自主防災会の役割」

「発災時の自主防災会の役割」の例

災害情報の収集

地域住民へ伝達

避難誘導

被災者の救出

応急手当て

避難所運営

防災訓練の事例

情報伝達訓練

避難訓練

※一時避難場所や指定避難所

**消火訓練
AED講習会**

避難所運営訓練

訓練をする意味

こんな状況の時の為に

地域全体で支え合う為に



1月4日現在

令和6年能登半島地震による被害等の状況について（危機管理監室）



5 避難所の開設状況

連絡先：危機対策課
(076-225-1482)

市町名	開設数(箇所)	避難者数(人)	備考
金沢市	10	84	
七尾市	32	3,286	
小松市	1	11	
輪島市	138	11,681	
珠洲市	21	6,981	
加賀市	2	16	
羽咋市	7	198	
かほく市	3	18	
白山市	0	0	1月2日 14時00分閉鎖
能美市	0	0	1月3日 12時00分閉鎖
野々市市	0	0	1月2日 11時00分閉鎖
川北町	0	0	1日1日 21時10分閉鎖
津幡町	4	73	
内灘町	6	110	
志賀町	15	1,959	
宝達志水町	2	107	
中能登町	10	329	
穴水町	50	3,815	
能登町	63	5,505	
計	364	34,173	

石川県発表資料

1月6日現在

令和6年能登半島地震による被害等の状況について（危機管理監室）



5 避難所の開設状況

連絡先：危機対策課
(076-225-1482)

市町名	開設数(箇所)	避難者数(人)	備考
金沢市	2	28	
七尾市	32	2,720	
小松市	1	2	
輪島市	157	12,690	
珠洲市	21	7,122	

輪島市地区別人口情報 【 令和6年1月1日 現在】

※人口及び世帯数には外国人住民と外国人世帯をそれぞれ含む

区分	人口(単位:人)	前月比	世帯数(単位:件)	前月比
合計	23,118	-7.4	11,357	-4.8
男性	10,923	-3.0	-	-
女性	12,195	-4.4	-	-
中能登町	4	242		
穴水町	46	2,898		
能登町	63	4,170		
計	357	31,451		

石川県発表資料



母子避難所（妊産婦や乳幼児のための避難所）
場所：ミドリ保育園

避難所 環境の違い

【環境が良い避難所】

- 地域のコミュニティ単位（地区、班、地元）で生活している
- 避難所に届いた物資が開封され整理して設置してある
- どんな避難者がいるのか把握できて、避難者名簿のようなものがある
- コミュニケーションがとれる茶の間（サロン）的な場所があり、そこで談笑している方達がいた
- 自主的に動く避難者が多い

【環境が悪い避難所】

- 避難所の玄関に大量に積まれた物資がそのままになっていた
- 何が届いているのかわからないから避難者は見捨てられたと勘違いしていた（実は届いていた。衣服や下着類、段ボールベット、間仕切り等）
- 何も支援がないと勘違いして、不満を市役所担当者にぶちまける人
- 避難所内で会話もなく、孤独・孤立・喪失感だけが漂っていた

住民が避難所の運営に関わっているか

**自分たちの生活する場所だからこそ
自分たちで住みやすい環境を作る
＝避難所生活の基本**



- ・ 避難所に足りない物資や支援を把握でき行政や支援団体からスムーズに支援を受けることにつながる
- ・ 関連死や生活不活発発病の防止につながる

「避難所」＝「避難生活の場」だけで考えない

「避難所」＝「地域の復興（支援）拠点」



「不幸な死者を出さない」「みんなで生き抜く」

「災害後の暮らしをえがく場所」

「避難所の運営がうまくいけば、地域の復興へとつながる」

避難所における3者の役割

